

2014年6月26日

エフセキュア、Linux サーバのセキュリティの実態を調査、 14%の管理者が重大な被害を経験していたことが判明

エフセキュア株式会社(本社：東京都港区、カンントリーマネージャ：アリエン ヴァン ブロックランド、以下 エフセキュア)が、サーバOSとしてLinuxを利用する企業の管理者の皆様に向けて調査を行った結果、14%のサーバ管理者が重大なセキュリティ被害を経験しているにもかかわらず、25%がセキュリティ対策を実施していないという実態が明らかになりました。

エフセキュアは2014年5月、調査パネルを持つインターネットリサーチ企業の協力により、企業におけるLinuxサーバのセキュリティ対策の実態について調査を実施しました。Webサーバ等のOSとしてLinuxを利用する企業の管理者の皆様から308件の有効回答をいただきました。

この調査結果から、管理者の方の14%が、重大なセキュリティ被害を経験していたことが判明しました。これには、Webページの改竄や個人情報の漏洩など、事業の存続に関わる致命的な被害が多数含まれています。

また、今後LinuxサーバOSに希望する機能に関しては、47.4%の管理者が「セキュリティ確保」を挙げており、「サーバの安定稼働」の35.1%を上回りました。これは、セキュリティ被害によってECサイトの閉鎖などの事態を招いた場合、ブランドイメージ低下や販売機会の損失、取引停止など深刻な二次被害として跳ね返ってくるため、セキュリティ確保を最優先課題としてとらえる管理者が多いことを示唆しています。

こうした状況にもかかわらず、25%の管理者が、セキュリティ対策を実施していないことが判明しています。また対策を実施している企業でも、アンチウイルスだけというケースが多く、Web改竄防止など多層的な防御が行われていない実態が明らかになりました。

エフセキュアでは、Linuxサーバ上でのマルウェアのコピーや、ハッカーからのファイルの改竄を防御するための製品「エフセキュア Linux セキュリティ」、およびプロトコルレベルで動作し、マルウェアのアップロードやダウンロードを阻止する「エフセキュア アンチウイルス Linux ゲートウェイ」を提供し、Linuxサーバの企業環境における多層的な安全性の確保に力をいれています。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名はF-Secure Corporationの登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>